

港区での地域ケア会議（個別ケース検討会議）をさらに充実させるため、港区地域包括ケア推進会議、港区医師会及び港区介護保険事業者連絡会が共催で、多職種を対象に下記のとおり、個別ケース検討から地域課題の把握を学ぶ研修会を開催しました。

（全2日開催 1日目：講座、2日目：事例検討会）

記

【日 時】平成29年12月19日（火） 13時30分～16時

【会 場】中部ろうさい病院 2階講堂

【参加機関】主催：港区地域包括ケア推進会議

港区医師会、港区在宅医療・介護連携支援センター

港区介護保険事業者連絡会

協力：中部ろうさい病院

【来場者数】74名

（介護関係者・医療関係者（中部ろうさい病院職員含む）・行政等）

【講師】日本福祉大学 中央福祉専門学校 校長 長岩 嘉文氏

【主要内容】港区の実際の個別ケース事例を用いた、ケース検討と地域課題の把握

(1) 事例タイトル

「淋しくて人を求めて外に出てしまう女性のケース」

(2) 事例提供者

居宅介護支援事業所 介護支援専門員

(3) 事例検討会の手順

①事例の提示（頭出し）

②「情報カード」の配布

③グループワークA・個別事例の検討

「事例の付帯状況を明らかにする」

④グループワークB・個別事例の検討

「本事例の今後の支援についての提案・アイデア」

「本事例に私が貢献できること・できないこと」

⑤グループワークC・地域課題の抽出

「本事例の地域課題を抽出する」

